

課題に対して根拠をもって考え、考えたことを表現できる生徒の育成

— ICTを活用した既習事項の蓄積と考えたことを共有する活動を通して —

特別研修員 社会 剣持 智之 (中学校教諭)

生徒の実態

根拠をもって考えることや自分の意見を発表することが苦手。



考えたことに自信がなくて発表しづらいなあ。

教師の願い

根拠をもって考え、自分の考えを表現できるようになってほしい。



自分の考えに自信をもって表現してほしい。

授業実践 2 学年地理「関東地方」

手立て① 既習事項の蓄積と活用

単元を通して活用するワークシート

日本の諸地域 「関東地方」 学習の見直し

【なぜ、関東地方（東京）に日本の首都がおかれているのだろうか？】

① 関東地方の地理的特徴や自然の特色をつかめよう。	② 関東地方の歴史や文化の特色をつかめよう。	③ 関東地方の産業や経済の特色をつかめよう。	④ 関東地方の交通網の特色をつかめよう。
---------------------------	------------------------	------------------------	----------------------

本時のまとめ（単元のあてに際する本時の考え）

関東地方は平野が多く、海に面している。また、交通網が発達している。首都機能が集中している。人口が多い。気候が過ごしやすい。産業が盛んである。自然の恵みを受けている。

端末内に蓄積して活用

関東地方

関東地方は日本の平野、関東地方の面積は約35%の平野。

関東地方は、関東地方の平野に由来する「関東平野」と呼ばれる。関東平野は、関東地方の平野に由来する「関東平野」と呼ばれる。関東平野は、関東地方の平野に由来する「関東平野」と呼ばれる。

関東地方の特色は、平野が多く、海に面している。また、交通網が発達している。首都機能が集中している。人口が多い。気候が過ごしやすい。産業が盛んである。自然の恵みを受けている。

ワークシートなどを基に単元のまとめを作成

学習成果物を蓄積することで、学習内容の定着を図ったり、既習事項を活用して考えの根拠としたりすることができる。

今まで学習した各地方の学習内容を思い出すのに便利だな。

追究する

手立て② ICTを活用した共有

リアルタイムに短時間で思考の共有ができるので、随時自分の考えを更新していくことができる。グルーピングなど意見の整理がしやすいことも利点。

なぜ交通網が発達していることが、首都機能の優先順位が高いと考えたのだろう。理由を聞いてみたい。



ホワイトボード機能で共有

交通網が たくさんある ところ	アクセスの 良いところ	人口が多い ところ	人口が 多いところ
観光地 に近いところ	世界との つながりが多いところ	日本の文化の 残っているところ	優先順位 1...交通網 2...自然 3...観光
自然の 恵みを受け やすいところ	自然の恵み を受けやすいところ	空気がきれいなところ	治安が良いところ 土地が大きいところ 食の歩 が早いところ 農業が発達しているところ 水くみ の便が良いところ

まとめる

手立て③ ICTを用いた自己表現

意見集約用シートにまとめを記入

1	交通手段が発達していたり、平野だったり首都を置きたいところだから
2	交通手段、経済、産業などが発達しているから。
3	交通手段や広い平野（土地）、海があったりする海外の人ともつながりやすく、色々な面で発達しているから。
4	平野が多く交通・通信網が発達し、しかも海と面している海外との貿易も便利だから。
5	平野や海に面している場所が多く、交通・貿易・産業が発達して経済にも中心になっているから。
6	平野が多く交通手段が発達して、海に面している海外と貿易しやすいから。
7	地形が平野で建物を立てやすく、交通手段が豊富で発達して、空港や海に面している貿易などに
8	交通、経済、産業などのびつが強いから。

僕は交通網を中心にまとめたけど、平野や海に面している地形も重要だと気づいたから、その要素も盛り込んでまとめ直したよ！また、話し合いなどで自分の考えが認められると自信がついたな。



共有した意見をもとに話し合い

発表が苦手な生徒でも、ICTを活用することで意見を出しやすくなる。また、集約された意見を基に、自分の考えを更新したり深めたりすることができる。

目指す生徒像

課題に対して根拠をもって考え、考えたことを表現できる生徒

成果と課題

- ホワイトボード機能を活用することにより、思考の共有がリアルタイムででき、個人の思考補助となっていた。また、グループの話し合いをスムーズに進める道具として活用することができた。
- 意見集約用シートにまとめを記入したことにより、自分のまとめと他の人のまとめを比較したり、参考にして書いたりしている姿がみられた。自分の言葉で上手くまとめられない生徒にとっては、それが良いヒントとなっていた。
- △ 既習事項の振り返りや参照を特定の作業の時だけでなく、生徒が必要ときに随時参照することができれば、思考の補助になると考えられる。